



Contents

P2

第22回高幡消防組合総合演習
高知県消防防災ヘリとの合同訓練

P3

NEW FACE
火災予防運動週間の実施

P4

高幡消防組合消防長表彰
令和6年度 叙勲受章者の紹介

2025.3 編集・発行／高幡消防組合消防本部

〒785-0031

高知県須崎市山手町1番7号

TEL 0889-43-1272

FAX 0889-42-9099

ホームページ <http://koban119.com>

第22回高幡消防組合総合演習



令和6年10月27日、須崎市桐間防災活動支援施設にて第22回高幡消防組合総合演習が開催されました。高幡消防組合を構成する市町から総勢180名の消防職員・団員が集い演習を行いました。

高幡消防組合救助隊による救助訓練展示では土砂崩れによって横転した乗用車内から要救助者の救助を実施し、車両のドアを油圧資機材で開放し要救助者を救出しました。

模範操法では小型ポンプ操法を梶原消防団、自動車ポンプ操法を四万十消防団、軽可搬ポンプ操法を須崎消防団が実施し、いずれの模範操法も日頃の訓練の成果を十分に発揮した見ごたえのあるものでした。

缶落とし競技では高幡消防組合の各団から10名が参加し協力してホースを伸ばし放水を行い、標的を倒す早さを競いました。小さな標的を水圧だけで倒すことは非常に難しく少しのずれでも標的を倒すことはできません。参加した各団の代表者はチームワークを発揮し正確な放水を行い標的を倒していました。（須崎 石田）

高知県消防防災ヘリとの合同訓練



令和6年10月1日に高知県消防防災ヘリと高幡消防組合中土佐分署の2機関で林野火災を想定した合同訓練を実施しました。

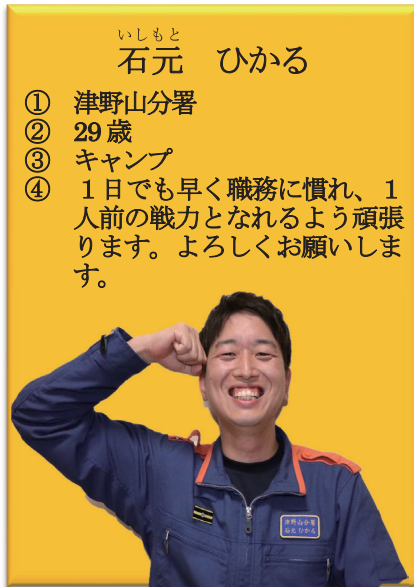
訓練内容は、中土佐町大野見地区で山林火災が発生した際に、消防ポンプを使用し河川から給水し、消防防災ヘリ専用のバケツに水を補給したのち、バケツを吊り上げ火災発生場所に上空から水を撒くといった一連の消火訓練です。防災ヘリのバケツには最大約900リットルの水を入れることが可能です。

高知県は山地率が他県に比べ高く、我々が暮らす高幡地域も山に囲まれている地域が多いので、消防防災ヘリとの合同訓練では連携面等で学ぶことも多く、また山林火災といった甚大な被害になりうる火災では、地域の消防力だけでは劣勢となっていく部分を補ってくれる非常に重要な役割であることを再認識することができました。（中土佐 市原）

NEW FACE

新人職員への質問

①所属 ②年齢 ③趣味 ④意気込み



消防学校初任科程・救急科程を修了して各所属に配属されました

上記で紹介している令和6年度に高幡消防組合に採用された新人職員が高知県消防学校の初任科程、救急科程を修了し、各所属に配属されました。

今回は配属前に消防学校へ訓練の取材に行ってきました。取材を行った際は消防活動訓練が行われていました。消防活動訓練とは建物や車両等の火災を想定して、ポンプ車、タンク車から放水を行い、被害を最小限に抑えるための消火戦術を学びます。訓練中は学生同士で声を掛け合いながら活気のある訓練を行っていました。

救急科程では救急車で出動し、現場で活動するための知識や技能を学びます。住民の皆様のもしもの時の安心安全を守るため、新人職員は各所属に戻ってから日々精進します。
(津野山 大崎)

火災予防運動週間の実施



令和6年11月9日～11月15日までの一週間、全国一斉に秋の火災予防運動が実施されました。

この運動は火災の発生しやすい時期を迎えるに当たり、火災予防意識の一層の普及を図ることで、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年この時期に実施しています。

四万十町大正地区では四万十消防団、女性防火クラブ、幼年消防クラブが火災予防パレードとして地域を歩いて回り火災予防の啓発活動を行いました。高幡消防組合管内では令和6年に25件もの火災が発生しておりますので、今一度、家庭や学校、職場などで火災予防について話しあってみてはどうでしょうか。

(四万十清流 常石)

高幡消防組合消防長表彰



令和6年11月13日に四万十清流消防署西分署において、高幡消防組合消防長表彰が行われ、徳島県在住の伊丹久寿さん（会社員）に感謝状を贈呈しました。

令和6年9月18日、友人と梶原川で鮎釣りをしていると、友人が川に流され始めたため、伊丹さんが岸に引き上げ救助し心肺停止状態だった友人に心肺蘇生法を実施しました。友人は心拍再開し後遺症を残すことなく社会復帰しました。

有事の際、あなたの勇気を持った行動で命を助けることができます。そのためにも、消防署で実施している心肺蘇生法の講習を年に1度でも受講することで、いざという時の備えになります。

（四万十清流 菅原）



令和6年 叙勲受章者の紹介

高幡消防組合でご活躍されていた9名の元職員・団員の皆様が日本政府より「瑞宝双光章」「瑞宝单光章」を受章されました。
受章者は、長年にわたり国民の生命・身体及び財産を火災等の災害から防衛するとともに、消防力の強化、充実に尽力され消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与された方々です。

春の叙勲

瑞宝单光章

元 高幡消防組合 須崎消防団 分団長

山崎 啓作 様 68歳

第42回 危険業務従事者叙勲

瑞宝单光章

元 高幡消防組合 四万十清流消防署西分署 分署長

山陸 和也 様 66歳

元 高幡消防組合 津野山分署 分署長

下元 啓自 様 66歳

秋の叙勲

瑞宝双光章

元 高幡消防組合 中土佐消防団 団長

嶋岡 敏雄 様 76歳

瑞宝单光章

元 高幡消防組合 須崎消防団 分団長

松浦 英彦 様 67歳

元 高幡消防組合 梶原消防団 副分団長

川上 源伸 様 68歳

元 高幡消防組合 津野消防団 副分団長

竹崎 居記 様 72歳

第43回 危険業務従事者叙勲

瑞宝单光章

元 高幡消防組合 中土佐分署 分署長

出来 勇藏 様 65歳

元 高幡消防組合 津野山分署 分署長

西森 文啓 様 65歳